

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コベルプラス高尾教室		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 1日		2024年 9月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2024年 9月 1日		2024年 9月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置数は適切である。	基本1対1の個別療育ではあるが、状況により当教室として独自に安定した療育が提供できるようにお子様1人に対して職員2名で対応し定着を図っている。	毎回の様子・保護者様の様子を職員間で共有することを徹底し、その都度、臨機応変に対応していく。また、必要に応じて新たな人員の採用を行い定着を図る。
2	こどもは安心感をもって通所している。	職員全員がコベルの療育の基本である「褒めて伸ばす」を常に意識しながらお子様との信頼関係を築けるよう支援している。また、お子様の情報共有を欠かさず行うことで、お子様の苦手なことや感覚過敏には常に注意を払っている。	職員間での共有事項を徹底し、お子様・保護者様と密な関係を築いていく。
3	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われている。	定期的な面談以外に突発的な相談事にもできる限り対応している。また、職員間で毎回のお子様の情報共有を行っている。	新たな人員の採用を行い、保護者様のお困りごとにも臨機応変に対応できる職員体制。また、職員の外部・内部研修によるスキルアップ。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の実施。	日々のお子様の支援業務があり就業時間内にテーマやプログラムを検討する時間の確保が難しい。また、その業務を担当する人員の確保が難しい。	新たな人員の採用を行い、職員体制の充実。また、コミュニティ開催などで検討を図っていく。
2	父母会の実施。	営業時間内に行うとなると、通常の療育を行っている利用者様との兼ね合いや駐車場の問題などがある。	保護者様が参加しやすいタイミングを検討しながらニーズを探っていきたい。
3	地域とのふれあいの機会を設けることが難しい。	地域の方や他事業所と交流する機会が少ない。また、利用者様のプライバシーの配慮などがあり難しい問題と感じる。	行政機関や他事業所等の情報収集を行い、機会をうかがう。